

平成23年度版Kudan Can-Doリスト(表面が目標、裏面がStatements)

# KUDAN Can-Do リスト(平成23年度版)

## 千代田区立九段中等教育学校

### 千代田区立九段中等教育学校の英語指導の目標

- ① 4技能の力をバランスよく身につけ、英語を使ってさまざまにコミュニケーションをとることができる。
- ② 大学入試でどの生徒も進路実現が可能な学力を身に付けている。
- ③ 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
- ④ 興味をもっていることや勉強を深めたい分野について英語を媒介として独学することができる。

#### Kudan Can-Doリストの説明

本校独自のCan-Doリストを作成しました。

リストには、読むこと、聞くこと、話すこと、書くことの技能ごとに、各学年における達成目標を載せています。

技能ごとに4つずつ観点を定めていますが、4つの技能に共通する観点は、①実生活に関わること、②本校の行事やKudan Methodに関することの2つです。あとの2つはその技能に関わる観点を定めています。

「実生活に関わること」の観点では、英語が使われている場所(国)において、本校の指導によってできるようになると思われることを載せています。また、各技能の最後に本校で受検している英検やGTEC for STUDENTSの目標スコアを示しています。

年度末にどの記述がどの程度、達成できているかを調査します。

本校英語科では、各記述が達成できる指導を英語科教員全員で考え、共通指導案を作成して授業を行っています。

なお、目標の達成については個人差があるので、生徒全体の70%が達成できることを目指しています。

# KUDAN Can-Do リスト (平成23年度版)

KUDAN Can-Do	学年 (段階) 項目	第1学年(学年末)	第2学年(学年末)	第3学年(学年末)	第4学年(学年末)	第5学年(学年末)	第6学年(卒業時)
		G1	G2	G3	G4	G5	G6
Reading 読むこと	実生活に関わること	[R1-1]公共の施設などにある簡単な表示や掲示を見て、その意味が理解できる。	[R1-2]携帯などの短いメールのメッセージを、辞書を使いながら読み理解できる。	[R1-3]海外の学校に掲示されている注意事項やお知らせを読み理解できる。	[R1-4]チラシやパンフレットを読んで、特徴や値段などの必要な情報を探して、その内容を理解することができる。	[R1-5]学習者用に書かれた英字新聞に掲載されている興味のある記事を、辞書を多用しないで読み理解できる。	[R1-6]英字新聞の興味のある記事を、辞書を多用しないで読み理解できる。
	本校の行事やKudan Methodに関すること	[R2-1]多読用図書(本校設定の赤レベル)を、辞書を使わないで、楽しみながら読むことができる。	[R2-2]英語合宿で使用されるテキストを読んで、指示文や概要が理解できる。	[R2-3]オーストラリアのホストファミリーからの手紙やメールを、辞書を使えば理解することができる。	[R2-4]副読本(ペンギンブック・レベル3程度)を、辞書を使わないで、楽しみながら読むことができる。	[R2-5]副読本(ペンギンブック・レベル4程度)を、辞書を使わないで、楽しみながら読むことができる。	[R2-6]副読本(ペンギンブック・レベル5程度)を、辞書を使わないで、楽しみながら読むことができる。
	黙読スピードと概略理解に関すること	[R3-1]英検4級レベルの文章を、60wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-2]英検3級レベルの文章を、70wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-3]都立高校の入試問題(600語程度)を、80wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-4]英検2級のレベルの文章を、90wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-5]センター入試の第6問レベルの問題を、120wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。	[R3-6]センター入試の第6問レベルの問題を、140wpm以上のスピードで読み概要を理解することができる。
	音読に関すること	[R4-1]中学1年生の既習の教科書本文を、英語特有の音を正しく発音しながら音読できる。	[R4-2]中学2年生の既習の教科書本文を、正しい発音で滑らかに音読できる。	[R4-3]中学3年生の既習の教科書本文を、その内容に合わせて感情を込めて音読できる。	[R4-4]英語 I の既習の教科書本文を、意味のまとまりに注意し、相手が理解しやすいように音読できる。	[R4-5]英語 II の既習の教科書本文を、意味のまとまりに注意し、ナレーターを演じるように音読できる。	[R4-6]本校で使用する高校の教科書レベルの文章であれば、初見であっても相手に意味が伝わるように音読できる。
	GTEC for STUDENTS (リーディング)の目標スコア	80点以上取ることができる。 【グレード1】	105点以上取ることができる。 【グレード1】	140点以上取ることができる。 【グレード3】	160点以上取ることができる。 【グレード4】	190点以上取ることができる。 【グレード5】	220点以上取ることができる。 【グレード5】
Listening 聞くこと	実生活に関わること	[L1-1]簡単な指示を聞いて、適切に応じることができる。	[L1-2]ゆっくり話してもらえば、簡単な道案内を聞いて理解することができる。	[L1-3]学校などの施設や乗り物などで、簡単なアナウンスを聞いて理解することができる。	[L1-4]買い物で店員からの簡単な商品説明を聞いて理解することができる。	[L1-5]簡単な内容であれば、英語で行われる学校外の授業や研修を理解することができる。	[L1-6]身近な話題についての映画やテレビ番組を見て、画面の情報を助けとしながら、その概要を理解することができる。
	本校の行事やKudan Methodに関すること	[L2-1]English Showerで、講師の先生による簡単な自己紹介を聞いて、概ね理解することができる。	[L2-2]英語合宿で、ゆっくり話してもらえば、講師の先生の英語を理解することができる。	[L2-3]オーストラリア研修旅行で、ホストファミリーが自分に向けて話す内容を概ね理解することができる。	[L2-4]学習発表会において、どの学年の生徒の話す英語も聞き取ることができる。	[L2-5]ディスカッションやディベートなどで、自分の次の発言内容を考えながら聞くことができる。	[L2-6]English Showerや英語による講演を聞いて、話されていることが理解できる。
	一方的な発話の聞き取り	[L3-1]人やものについての簡単な説明を聞いて理解することができる。	[L3-2]教師による教科書の内容や活動のやり方などの説明を聞いて理解することができる。	[L3-3]英検3級レベルの長文問題を、少しゆっくりとしたスピードで聞き、内容が理解できる。	[L3-4]英検準2級レベルの長文問題を、少しゆっくりとしたスピードで聞き、内容が理解できる。	[L3-5]英検2級の長文問題を、少しゆっくりとしたスピードで聞き、内容が理解できる。	[L3-6]本校で使用する英語 I レベルの教科書のCDを、自然な音調で聞き、内容が理解できる。
	会話における聞き取りや技術に関すること	[L4-1]ごく身近な話題の会話において、相手の言うことを理解し、相づちなどの反応をすることができる。	[L4-2]身近な話題の会話において、相手の言うことを理解し、さまざまな相づちを打つことができる。	[L4-3]相手の話す内容に応じて適切な相づちを打ったり、分からないところを聞き返したりすることができる。	[L4-4]英語で聞いたり話したりしたことのある話題ならば、相手の言うことを理解し、必要なときに内容を確認することができる。	[L4-5]身近な話題であれば、相手の言うことを理解し、必要なときに内容を確認することができる。	[L4-6]自分の知らないことを言われても、適切に対処しながら会話を続けることができる。
	GTEC for STUDENTS (リスニング)の目標スコア	115点以上取ることができる。 【グレード1】	140点以上取ることができる。 【グレード2】	165点以上取ることができる。 【グレード3】	190点以上取ることができる。 【グレード4】	215点以上取ることができる。 【グレード5】	230点以上取ることができる。 【グレード6】
Speaking 話すこと	実生活に関わること	[S1-1]食べ物やスポーツなどの好き嫌いについて述べることができる。	[S1-2]物事の好き嫌いとその理由を簡単に述べることができる。	[S1-3]電話で、簡単な表現や決まり文句を使って適切に回答することができる。	[S1-4]電話で、会う時間や場所などの交渉をすることができる。	[S1-5]旅行やイベントなど印象に残った出来事について、相手に分かりやすく詳細に話すことができる。	[S1-6]店、レストラン、公共の施設などで、問題点など自分の用件を伝え、交渉して解決することができる。
	本校の行事やKudan Methodに関すること	[S2-1]English Showerなどで、初対面の相手にあいさつや簡単な自己紹介を即興でできる。	[S2-2]English Showerや英語合宿などで、簡単な質問に適切に答えることができる。	[S2-3]オーストラリア研修旅行で、日本や学校、家族などに関する基本的なことを相手に伝えることができる。	[S2-4]ディスカッションにおいて自分の意見を相手に理解してもらるように話すことができる。	[S2-5]ディベートにおいて、論題に対して200語程度の立論スピーチをすることができる。	[S2-6]社会的な問題について、ディスカッションやディベートができる。
	準備をして行う発話(発表活動)	[S3-1]人物や事物についての50語程度のスピーチを行うことができる。	[S3-2]習ったばかりの教科書の内容を自分の言葉で伝えることができる。【リプロダクション】	[S3-3]商品やアンケート調査結果などを説明するプレゼンテーションができる。	[S3-4]教科書のレッスンや短い物語の概要と感想を述べることができる。	[S3-5]図表や写真などを有効に利用し、分かりやすいプレゼンテーションをすることができる。	[S3-6]5分程度のスピーチを、分かりやすい構成で、聞き手を惹きつけながら行うことができる。
	即興で行う発話(会話など)	[S4-1]チャットを友だちと協力しながら1分以上続けることができる。	[S4-2]チャットを友だちと協力しながら2分以上続けることができる。	[S4-3]自分の得た簡単な情報を、準備しないで、他の人に誤解なく伝えることができる。	[S4-4]会話において、身近な話題であれば、相手の反応に合わせて補足説明をしながら、話を続けることができる。	[S4-5]読んだ本や見た映画についての内容や感想を、簡潔に述べるすることができる。	[S4-6]自分が発表したことに相手から質問された際、相手のもっている情報量に合わせて説明することができる。
	英検の面接テストの目標スコア	英検3級の面接テストのNo. 2からNo. 5を行い、40%以上の得点を取ることができる。	英検3級の面接テストのNo. 2からNo. 5を行い、70%以上の得点を取ることができる。	英検準2級の面接テストのNo. 2からNo. 5を行い、60%以上の得点を取ることができる。	英検2級の面接テストのNo. 2からNo. 4を行い、60%以上の得点を取ることができる。	英検準1級の面接テストのナレーションおよびNo. 1からNo. 4を行い、50%以上の得点を取ることができる。	英検準1級の面接テストのナレーションおよびNo. 1からNo. 4を行い、70%以上の得点を取ることができる。
Writing 書くこと	実生活に関わること	[W1-1]入国カードなどに、日付、自分の名前、国籍、生年月日などを書くことができる。	[W1-2]自分の予定を手帳やカレンダーなどにメモ書きすることができる。	[W1-3]感謝や謝罪を表した簡単なメールや手紙を書くことができる。	[W1-4]経験、感情や出来事を詳しく記した個人的なメールや手紙を書くことができる。	[W1-5]相手を説得するためのメールや手紙を書くことができる。	[W1-6]新聞や雑誌などに自分の意見を投稿できる。
	本校の行事やKudan Methodに関すること	[W2-1]自己紹介の掲示用ポスターを書くことができる。	[W2-2]長期休業中に自分のしたことを英語新聞などの形式で読みやすく書くことができる。	[W2-3]辞書を使えば、ホストファミリーに伝えたいことをEメールや手紙に書くことができる。	[W2-4]社会の出来事や自分が興味を持っていることを、英語新聞などにまとめることができる。	[W2-5]自分が読んだ本のあらすじを、読み手に分かりやすく書くことができる。	[W2-6]興味のあることを小論文にまとめたり、物語文を創作して書くことができる。
	意見、要約、感想などの筆記に関すること	[W3-1]見本を参考にして、簡単な絵はがきやカードを書くことができる。	[W3-2]イラストや写真の簡単な説明文を書くことができる。	[W3-3]簡単な内容であれば、教科書で習ったレッスンの要約文を書くことができる。	[W3-4]自分の経験したことを、そのときの気持ちを含めて、読み手に伝わるように書くことができる。	[W3-5]語数の多い文章を読んで、その内容を知らない読み手に分かる要約文を書くことができる。	[W3-6]日本の文化などについて、他国と比較しながら説明する文章を書くことができる。
	口頭発表するための原稿に関すること	[W4-1]5ターン程度の創作スキットを他の生徒と協力して書くことができる。	[W4-2]12文(80語)程度のスピーチ文を聞き手に分かりやすく書くことができる。	[W4-3]自分の好きなテーマのプレゼンテーション用の原稿を聞き手が理解しやすい構成で書くことができる。	[W4-4]教科書で習ったさまざまな分野について、その要点と感想を述べるためのスピーチ原稿を書くことができる。	[W4-5]3部構成(序論、本論、結論)で説得力のある300語程度のスピーチ原稿を書くことができる。	[W4-6]500語程度のスピーチ原稿を聞き手を惹き付けられるような工夫をして書くことができる。
	GTEC for STUDENTS (ライティング)の目標スコア	80点以上取ることができる。 【グレード3】	90点以上取ることができる。 【グレード3】	100点以上取ることができる。 【グレード4】	115点以上取ることができる。 【グレード4】	130点以上取ることができる。 【グレード5】	140点以上取ることができる。 【グレード5】
総合的な英語力 検定試験の目標	英 検	4級	3級	準2級	準2級～2級	2級	2級～準1級
	GTEC for STUDENTS	275 【グレード1】	335 【グレード2】	405 【グレード3】	465 【グレード4】	535 【グレード5】	590 【グレード5】